

新高通信



第62号

秋田県立新屋高等学校

1年間を振り返って ・・・数学の問題を出題して

校長 和田 央



1年間を通して集会で数学の問題を提示し、様々な問題解決の方法について考えさせました。

問題解決では、まず問題の本質を理解することが必要です。これがなければ、あらゆる問題は解決できません。問題の本質が理解できたら、次に解決のための計画(Plan)を立てます。目標を設定し、目標達成のための何をすべきか考えます。これが問題解決では一番重要になります。次は計画を実行(Do)することです。このとき、計画を意識して実行することが大切になります。次は計画に沿って実行したことが正しいか否かを検証(Check)します。最後に、検証結果で見た課題の解決策を考え、改善(Action)します。問題の本質を理解＝改善と考えると、この流れは回っていることがわかります。これを、PDCAサイクルと呼び、教育界や経済界では頻繁に使われています。この内容に絡めて、集会で次の4問を生徒に問いました。

「1匹の熊が点Pにいます。熊は南に向けて10キロ歩き、そこで方向を変えて真東に10キロ進んだ。そこでもう一度向きを変えて真北に10キロ進んだとき、ちょうど出発点Pに戻った。熊の毛の色は何色ですか」(夏休み前集会で出題)

「当たり札が2枚、はずれ札が1枚あり、3枚を裏返しにします。このうち、当たりと思う札を1枚示してもらいます。私は、残りの2枚の札を見て、当たり札を表にします。この時点で、1枚が当たり札で表、2枚が裏になっており、そのうち1枚が当たりだと思っている札です。ここで、私が質問します。あなたが当たっていると思った札ともう1枚裏になっている札がありますが、もう一方が当たっていると思ったら、もう1枚の方に当たりの選択を変えてもよい。あなたは選択を変更しますか。」(前期終業式で出題)

「自然数が偶数、3の倍数、4の倍数、5の倍数などであることは簡単に見分けることができます。それでは、ある自然数が7の倍数であることを見つける方法がありますか。」(冬休み前集会で出題)

「私の話すことは全て嘘です。」このことについてどう思いますか。」(修了式で出題)

時間があつたら、是非これらの問題を考えてください。

1年間ありがとうございました。

進路決定の概要

進路指導主事 戸坂 昌成

3月13日現在、3年生の決定率は91.4%となっています。これから国公立大の後期の発表や、看護専門学校発表などが控えており、年度末にはこの数字がさらに上がっていくものと思われます。

さて、今年度の進路状況で特筆すべきは、国公立大の合格者数の増加です。現時点での22名は、平成18年(20期)の24名に続き歴代第2位の結果となっています。(後期の結果によっては歴代最高も…)受験種別の内訳を見てみると、AO3、センター無推薦6(指定校含む)、センター有推薦6、前期7となっています。AO・センター無し推薦の合格者数は例年並みでしたが、センター有り・前期の合格者数が多くなっています。これは、センター試験で点数がとれたこと、すなわち学力をきちんと身に付けることができたことによって生まれた結果であると考えられます。現状でも多くの2,3年生が国公立志望となっています。各大学ともAO・推薦入試の比率が高くなっていますが、まずセンター試験を突破できる学力を身に付けることを忘れないようにして欲しいと思います。

進路志望・決定状況

(3月13日現在)

進路状況	合計	国公立大	私立大	短大	専門	未定	民間	公務員	未定	全く未定
1年生志望状況	172	67	32	13	32	13	5	8	1	1
2年生志望状況	175	44	31	14	40	14	6	18	8	0
3年生内定者数	159	22	53	20	48	0	12	6	1	1



卒業証書授与式

第33回卒業証書授与式が、3月1日(日)午前10時30分から第一体育館において挙行されました。式では、代表の安藤来伎さんに和田央校長から卒業証書が授与されました。校長式辞の後、在校生代表の田中美優さんが「先輩方の何事も最後まで諦めない姿から、仲間と切磋琢磨しあいながら自分の限界に挑戦していくことの大切さを学びました」と送辞を述べると、卒業生代表の近野怜恵さんが、「先生方や家族の応援や助けがあって、この日を迎えることができました。どんな困難にぶつかろうとも、新屋高校での経験を活かし、校訓である『自尊・自知・自制』を胸に立ち向かっていきたいです。」と答辞を述べました。式が終了し、各クラスで最後のHRが行われました。一人ひとりに担任が卒業証書を手渡し、174名の卒業生が新屋高校を巣立ちました。



表彰式・記念品贈呈式・同窓会入会式

2月28日(水)、皆勤賞30名、特別活動賞4名に対する表彰が行われました。また、記念品贈呈式および同窓会入会式も行われ、3年生たちが学校や同窓会との絆を再確認したようでした。クラス幹事や部活動代表の生徒たちは、今後同窓会の先輩と連携し、OB・OGとして活動の中心的役割を担うこととなります。

後期校内研修報告

研修部主任 佐藤茂樹

昨年度本校で行われた「ICT研究協議会」において協力して頂いたベネッセの「Classi利用」の報告会を9月20日(水)に行い、その有用性が報告されました。9月28日(木)に新テスト導入事前研修会を行い、これからの入試における方向性を確認しました。また、本校を会場にして、11月15日(水)初任者研修(日本史)が行われ、県内の先生方による熱心な研修が行われました。2月14日(水)には、中堅教諭等資質向上研修報告が行われ、充実した研修の報告がされました。この他にも、11月中旬には後期の互見授業など、折に触れ職員の資質向上を目指し研修を実施しました。なお、これら1年間の研修については、「研修集録」にまとめ3月下旬に発行する予定です。

保健室から

養護教諭 豊嶋 亜紀子

今年度の保健室来室者数は1003人(3月2日現在:内科的理由710人、外科的理由293人)、出席停止者数は98人(3月2日現在:インフルエンザ86人、その他の感染症12人)でした。今年度は例年よりも全国的にインフルエンザが大流行しましたが、罹患報告者数は昨年度よりも36人減少しました。これも皆さんが予防を頑張った結果だと思えます。インフルエンザの予防対策は、インフルエンザだけではなく様々な疾病予防にも効果的です。手洗い・うがい・換気・湿度対策・早寝早起き・バランスの取れた食事を3食摂ること等は健康維持には欠かせません。特に生活の基本ができていない人は心身共に元気ですし、このうちのどれか(特に睡眠と食事)のバランスが崩れるとよく来室するように思います。

健康な体があってこそ様々なことにチャレンジできます。自分の体によく目を向け、いかに健康を維持していくか、保護者の方のご協力を得ながら研究してみてもいいでしょう(自分はどういう環境に強いのか・弱いのか、平熱は何度か、毎回どこか痛くなる人は要因は何か、など)。保護者の皆様、どうぞご家庭でも声かけ等よろしくお祈りします。

先輩講話

3月13日(火)、大学へ進学した先輩や、就職し第一線で活躍している卒業生を招いて、進路に関する貴重な体験談をお聞きしました。在学中の勉強方法や時間の使い方などのアドバイスを聞き、卒業後の自分の姿を思い浮かべた生徒も多かったのではないのでしょうか。

1・2年生は進路志望を達成するため、先輩方のアドバイスを活かし、決意も新たに頑張っている様子でした。



一般選抜

平成30年度一般選抜合格発表が、3月14日(金)午後4時、本校生徒昇降口前で行われました。募集人員135名に対し、志願者数が153名、志願倍率は1.13倍でした。まだ若干肌寒さが残る中、本校を受検した中学3年生や保護者など多くの方が発表を見に来校しました。

合格者の受検番号が記された掲示板の白布がめくられると、ひときわ高い歓声が上がりました。友人や家族と抱き合う人や記念撮影をする人など、会場には喜びの声がいつまでも響いていました。これで、前期選抜合格者の40名を加え、平成30年度入学生175名が決まりました。4月6日(金)の入学式において希望に燃える新1年生の皆さんにお会いすることを楽しみにしています。